

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	1192	一般管理費	会計	03	国保会計直診勘定	
基本施策	1	10万市民の健康を維持する	款	01	総務費	
			項	01	施設管理費	
			目	01	一般管理費	
担当部課名	大山田支所 健康福祉課 阿波診療所		細目	101	一般管理費	
作成者氏名	川合 文秀	連絡先	47-1151	細々目	01	一般管理費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	・医療に乏しい地域の住民	・交通の不便な遠方の医療機関への通院をしなくても、近くでいつでも診療を受け ることができる。 ・通院ができない患者は、往診による治療を受けることができる。
本年度事業内容	医療に乏しい地域の住民の健康を管理し、地域医療の担い手として、疾病の早期発見、早期治療を行う。 ・庶務(文書管理、会計事務、職員管理、委託契約等) ・レセプト点検、各種保険請求及び証明事務 ・調剤、服薬説明 ・窓口会計 ・施設管理	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先:)	根拠法令・要綱等 伊賀市国民健康保険診療所条例
市内の類似施設	国民健康保険山田診療所、国民健康保険霧生診療所	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.7	0.7	0.7
	人件費合計(A)	5,040	5,040	5,040
②支出内訳 (千円)	事業費(B)	12,635	12,649	12,649
	臨時賃金・共	3,649	3,863	3,863
	報償費	5,126	5,038	5,038
	借上料	810	806	806
	その他	3,050	2,942	2,942
合計(A+B)		17,675	17,689	17,689
③財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担			
	その他特財	641	3,439	3,439
一般財源		17,034	14,250	14,250
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
利用者延べ人数	人	5,780	6,000	6,250			
開館日数	日	216	225	225			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
利用者延べ人数	・利用満足度などを指標とすべきであるが、把握が困難なため本指標を採用。 ・へき地であり、伊賀市の東端にあるため、利用者の増加はあまり望めない。	人	5,780	6,000	6,250
			目標 ()		
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

・昭和30年1月に「阿波村国保直営診療所」として開設以来、50年以上に渡り、へき地地域の医療機関として、また地域住民の「かかりつけ医」としての役割を果たしてきた。昭和52年12月に現在の場所に新設された。地域では、高齢化が進み、独居老人や老人世帯も増えつつあり、遠方の医療機関への通院や入院が困難となり、在宅での介護も増え、往診の依頼も増えつつある。
・なお、患者の高齢化や交通の便が不便であることもあり、基本的に薬の2週間投与を行わず、1ヶ月投与を行っているために、来院回数が少なくなり、必然的に利用者延べ人数も少なくなっている。

評価	必要性	4	地域医療を充実させるため、継続管理が必要である	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		
				A